

# 子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第二次）の概要

## 第一次基本計画期間における取組・成果

- ・全都道府県において「子どもの読書活動推進計画」が策定
- ・12学級以上の学校における司書教諭の発令が進む
- ・学校におけるボランティアの増加  
(H14度:35%→H18度:70%)
- ・不読者率の減少 (中学生 H13度54%→H19度37%)
- ・公立図書館における児童への貸出冊数の増加  
(H13度:125百万冊→H16度:135百万冊)
- ・全校一斉読書活動を行う学校の増加  
(H14度:74.3%→H18度:84.2%)

## 第一次基本計画期間における課題

- ・依然,中・高になるにつれ不読者の割合が高まる傾向  
(H15度 小:28.3%,中:47.9%,高:61.3%)
- ・依然,地域における取組の差が解消されていない  
(H17年 公立図書館の設置率 市区:98%、町:54%、村:22%)
- ・学校図書館資料の整備が不十分  
(H17度末 学校図書館図書標準達成状況 小:40.1%,中34.9%)
- ・子どもたちの読解力の低下  
(OECD生徒の学習到達度調査PISA2006 57カ国中15位)

## 子どもの読書活動をめぐる情勢の変化

- ・教育基本法、学校教育法の改正
- ・文字・活字文化振興法の成立
- ・図書館法の改正に向けた動き
- ・情報化社会の進展
- ・地方分権の進展

## 主な改定のポイント

(H20.3~)

■ 主要施策の数値目標化

■ 国、地方公共団体、関係機関等の連携体制を強調

■ 第一次基本計画における成果と課題等を整理

■ 家庭・地域・学校の取組に再構成

### 【家庭における取組】

- ・家庭教育に関する講座等を通じた保護者に対する理解の促進
- ・家庭における読み聞かせなど、読書活動に資する情報提供の推進

### 【地域における取組】

- 子どもの読書環境の地域格差の改善
  - ・市町村推進計画の策定率 **24%⇒50%以上**
  - ・公立図書館未設置市町村の解消に向けた取組
  - ・児童室等の整備の推進
  - ・移動図書館によるサービス向上
- 公立図書館の情報化の推進
  - ・図書館のHP開設率 **56% ⇒ 本館数の90%以上**
  - ・来館者用コンピュータ設置率 **100%**
  - ・オンライン閲覧目録(OPAC)導入率 **100%**
- 公立図書館に係る人材の養成
  - ・図書館ボランティア **7万人⇒10万人以上**
  - ・司書に対する研修の充実

### 【学校等における取組】

- 学校段階に応じた読解力の向上
  - ・言語力の育成に資する読書活動の推進
- 学校における条件整備
  - ・新学校図書館図書整備5カ年計画に基づく、学校図書館図書標準の達成の促進
  - 【単年度200億円、5年間で1,000億円の地財措置】
  - ・司書教諭の未発令校への発令促進  
(平成18年5月現在発令状況 59.9%)
  - ・学校における超高速インターネット接続率 **35%⇒概ね 100%**